

RECRUIT GUIDE

東京都立府中療育センター

医 師 募 集

Tokyo Metropolitan Fuchu Medical Center for the Disabled



～すべての利用者によりそい、いのちときめく明日をめざして～

院長メッセージ

府中療育センターは、「個人の尊厳を尊重し、すべての利用者の豊かな生活を支援する」ことを基本理念に、重症心身障害児者や肢体不自由児、発達障害児等への総合的な療育・医療サービスを提供しています。

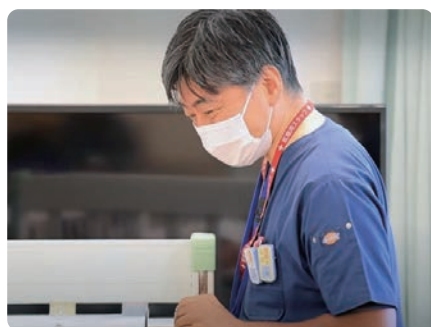
当センターの魅力は、多職種連携による全人的な診療と、高い専門性を持つチーム医療です。医師として大きな社会貢献とやりがいを実感できる環境です。障害児者を支える志と熱意のある先生をお待ちしています。あなたの専門性を、ぜひ当センターで活かしてください。



院長 清水 俊夫

ABOUT US

府中療育センターは昭和43年に重症心身障害児等の入所施設として開設され、令和2年に重症心身障害児・肢体不自由児・発達障害児などを担う多摩療育園と統合・移転改築しました。重症心身障害児者や肢体不自由児・発達障害児など多様な障害に対応し、入所・外来、通園、通所など多様なサービスを総合的に提供しています。病床数は260床 [10病棟] (令和7年4月1日現在)で、東京都内最大規模の施設です。



やりがいのある仕事です

障害者医療は、患者の生活の質を向上させることを目指す非常にやりがいのある仕事です。

府中療育センターは、東京都内では最大規模の重症心身障害児者等の施設であり、病棟、外来において、診療やリハビリテーションを実施するほか、短期入所や通所をはじめとした地域支援事業も積極的に行っています。

症例が豊富で、重症心身障害児者等のトータルケアを学びたい方にとっても絶好の研修施設です。



障害児者医療の専門家が揃っています

医師だけでなく、看護師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士など多職種が協力し、診療だけでなく、それを取り巻く環境への理解や調整を含めて家族の支援を行っています。また、親子通園（児童発達支援）を介した幼児の成長・発達の支援や、通所（生活介護）を介した特別支援学校高等部卒業後の障害者の診療など、地域で暮らせる一助となる役割を担っています。

専門知識をもつ多職種が連携し、栄養サポート(NST)、摂食・嚥下サポート、痙縮治療、褥瘡ケア、緩和ケア、感染対策(ICT)、呼吸サポート(RST)などチーム医療にも取り組んでいます。



若手医師を応援しています

小児神経専門医研修認定施設であり、小児神経専門医が多数在籍しており、専門医の取得も可能です。医学研修生制度を利用して他施設との共同研究を行い、学位取得も可能です。



ライフスタイルに応じた働き方が可能です

東京都の育児時間制度や介護時間制度等を利用した勤務が可能です。子育てや介護をしながら、勤務時間中には責任ある仕事を任せられ、常勤でキャリアを継続することも可能です。



COLLEAGUE

● 医師からのメッセージ（外来担当）

【入職動機】

医学部入学時から障害児者医療を志しており、肢体不自由児施設や療育病院で研鑽を積みました。東京都の障害児者医療のお役に立てればと、多摩療育園（現・府中療育センター外来部門）で働くことを希望しました。

【業務内容】

外来診療を中心に、肢体不自由児や神経発達症児の診療を担当しています。リハビリや家庭生活、学校生活の環境調整など幅広く関わり、地域や支援機関とも連携しています。また、学会発表等を通じて知見の共有にも努めています。

【やりがい・魅力】

障害がありながらもより楽しくより自分らしく過ごせるようになり、子どもたちやご家族が笑顔を取り戻していくご様子は、医者として出逢えてよかったと嬉しい瞬間です。自分たちの経験や知見を伝えることで、社会の障害理解が深まることも大きなやりがいです。

【入職を検討している方・後輩へのメッセージ】

障害のある子どもたちについて深く学び、共に考え支援していきたい方に最適な職場です。ライフステージに合わせ柔軟に働ける環境で、共に成長していきたいでしょう。



当センターの外来業務

- 肢体不自由児の診療、リハビリ、装具・車椅子等作成
- 神経発達症児及び被虐待児の診療、リハビリ、環境調整、連携支援
- 区市町村保健・療育業務支援、地域の障害理解への啓発等
- 各種カンファレンス（院内、地域）

● 医師からのメッセージ（病棟担当）

【入職動機】

大学病院から、妊娠・出産を機に救急の少ない環境を希望し入職しました。小児神経を専門とし、子どもたちの成長後の生活や経過を学びたいと考えたのも理由のひとつです。

【業務内容】

病棟で長期入所者の日常ケアや体調管理を行い、月2回は外来で発達障害や身体障害のある子どもたちを診ています。入所・外来双方を通じ、生活と医療を支える役割を担っています。

【やりがい・魅力】

言葉で伝えられない入所者の気持ちを汲み取り、ケアに活かしたときにやりがいを感じます。子どもたちの成長を間近で見守れることも魅力です。小児科医療ならではの「成長に伴走する喜び」を日々実感しています。

【入職を検討している方・後輩へのメッセージ】

多様な働き方が認められ、子育てと両立できる環境です。急な休みも受け入れてもらえ、安心して働けます。障害児者医療未経験でもサポート体制が整っているので、ぜひ挑戦し経験を積んでください。



当センターの病棟業務

- 重症心身障害児者等の診療、健康管理、てんかん診療、感染症治療、呼吸管理、栄養管理、緩和医療
- レスパイト（短期入所）の受入れ
- 多職種連携によるチーム医療
- 症例検討会、診断会議等

FACILITY

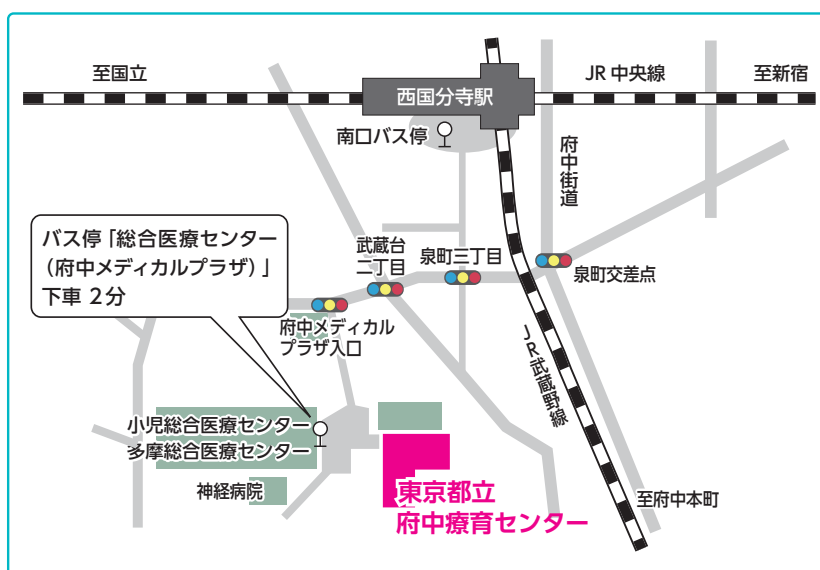
2020年6月に移転改築した新しい建物です。

多摩メディカルキャンパス内の施設の一つとして、多摩総合医療センター、小児総合医療センター、神経病院と連携し障害者医療を提供しています。

開 設	昭和43年4月1日(移転改築:令和2年6月1日)		
病 床 数	260床(短期入所 33床を含む)		
通 所	定員30人	通 園	定員40人
診 療 科	小児科、内科、精神科、児童精神科、脳神経内科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科		
事 業	医療型障害児入所施設、療養介護、短期入所、生活介護(通所)、外来診療、児童発達支援センター(通園・保育所等訪問支援)、地域療育等支援		



ACCESS



【バスからのアクセス】

- ▶ JR中央線・武蔵野線:西国分寺駅(南口)
総合医療センター行き(西国01)
＜所要時間5分＞
- ▶ JR中央線:国立駅
府中駅行き(東芝前・総合医療センター経由)(国03)
＜所要時間10分＞
- ▶ JR中央線:国分寺駅(南口)
総合医療センター行き(寺87・寺88)
＜所要時間10分＞
- ▶ 京王線:府中駅
総合医療センター行き(府21)
国立駅行き(東芝前・総合医療センター経由)(国03)
＜所要時間20分＞

施設見学も随時受け付けております。
お電話またはメールにてお問合せください。

東京都立府中療育センター 事務室 庶務担当
東京都府中市武蔵台二丁目9番地の2
TEL 042-323-5115
E-mail: S1144001@section.metro.tokyo.jp

採用情報は
こちらからも
ご覧になれます



登録番号7(6)

